

6. 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告について

第1 令和4年度事業総括

小動物、産業動物、公衆衛生等各分野で働く本会会員が、自らの倫理の高揚と実践・普及及び獣医師の人材育成に努めることにより、動物に関する保健衛生の向上、動物愛護精神の涵養、安全安心な畜産食品の生産振興、人の公衆衛生の向上及び社会福祉の増進などを図って地域社会への貢献を目指して活動した。

具体的な方策として、令和元年度末から続いている新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染対策を施しながら可能な限り事業実施に努めた。

【公益目的事業】

1 獣医学術及び技術の振興・普及及び獣医師人材育成に関する事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、県学会は開催を中止したが、研修会、講習会等は感染対策を施し対面開催し、また、獣医学術中国地区学会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会も対面により開催された。

また、県内の小動物・産業動物・公務員獣医師を確保するため、鳥取県内で獣医師として働く魅力について動画を作成する事業を県の補助により実施した。

さらに昨年度同様、日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会への後援、各種のオンラインセミナーやWEB配信セミナー、シンポジウム等を会員に会報、ホームページ等を通じて広報、案内を行った。

2 人と動物が共生できる社会環境づくりに関する事業

人獣共通感染症である狂犬病の予防等のため予防注射の推進等適切な指導を推進するとともに、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく所有明示措置を推進するため、マイクロチップの代行登録及び新規事業のマイクロチップ装着助成により普及推進を図った。

また、新規事業の補助犬医療費助成により保健衛生の向上を図り、県事業を活用して猫の不妊・去勢手術を助成し、もって動物愛護精神の高揚を図り、人と動物が共生する地域社会の発展を図るための事業を実施した。

さらに、鳥取県の豚熱ワクチン接種委託事業の受託や公益社団法人鳥取県畜産推進機構指定獣医師の予防注射業務への協力により、家畜伝染病の防疫体制の強化を推進した。

3 飼養動物等に関する知識・技術の普及啓発に関する事業

動物愛護週間の普及啓発や動物愛護フェスティバルでの無料相談コーナー設置など飼養動物等（愛玩動物、家畜、野生動物等）の習性や飼養管理、病気等に関する情報を提供するとともに、公益財団法人動物臨床医学研究所との連携により愛護動物の福祉・環境改善の高揚などを行った。

その他の取組概要

【会員等相互扶助等に関する取組】

公益目的事業の推進に資するため、獣医事に係る諸問題へ対応するとともに、会員等の活動支援や会員の福利厚生を行った。

1 獣医事の推進

中国地区の各獣医師会と連携し、以下の項目について日本獣医師会を通じて国に要望した。

- ①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正
- ②獣医師養成確保修学資金給付事業の広範活用について
- ③伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）のサーベイランスの実施と検査・診断体制の整備について
- ④「獣医療法」第17条（広告の制限）及びその適正化のための監視指導に関する指針（獣医療法広告ガイドライン）の見直しについて
- ⑤農業共済組合家畜診療所の運営費の助成について

2 会員等活動支援

- (1) 日本獣医師会雑誌を正会員に配布し、獣医学術及び会員情報等を伝達した。
- (2) 鳥取県獣医師会会報を毎月発行（第567号～第578号）、全会員に配布し、本会業務の伝達、各種情報の提供を行った。
- (3) ホームページを充実し広く本会のPRに努めるとともに、会員コーナーで情報提供に努めた。
- (4) 獣医学術及び本会の発展に寄与された会員に対し鳥取県獣医師会会長表彰、中国地区獣医師会連合会会長表彰、日本獣医師会会長表彰を授与し、地元鳥取大学農学部共同獣医学科を優秀な成績で卒業する学生に表彰を行った。

3 福利厚生推進

会員に対する慶弔、獣医師総合福祉生命共済制度等への加入促進を行った。

第2 事務概況

1. 行事

(1) 監査会

R 4. 4. 26 令和3年度事業監査会（於 本会事務所）
令和3年度における会計及び業務監査

(2) 総会

4. 6. 12 第70回定時総会（於 米子市：ワシントンホテルプラザ）
令和3年度事業報告及び収支決算、役員補欠選任
令和4年度事業計画及び収支予算

(3) 理事会

4. 5. 12 第198回理事会（於 倉吉市：鳥取県立倉吉体育文化会館）
第70回定期総会招集
第70回定時総会提出議案、功労者表彰
日本獣医師会会長・中国地区連合会会長表彰の表彰者の推薦
役員報酬及び費用に関する規程の一部改正、役員補欠選任
代表理事等の業務執行理事の職務執行状況

4. 12. 8 第199回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
令和5年度獣医学術中国地区学会開催計画及び動員計画
特別会員細則の一部改正、役員選任規程の一部改正
表彰規程の一部改正、専務理事の年俸の検討
代表理事等の業務執行理事の職務執行状況

5. 3. 13 第200回理事会（於 倉吉市：鳥取県立倉吉体育文化会館）
令和4年度補正予算案、令和5年度事業計画案及び予算案
役員選任日程

(4) 小動物臨床部会関係

4. 7. 26 西部地区令和4年度狂犬病予防業務に係る担当者会議

4. 7. 27 中部地区 //

4. 7. 28 東部地区 //

動愛法改正に伴うマイクロチップ装着等に関する意見交換
犬猫マイクロチップ義務化（鳥取県・鳥取市からの情報提供）

4. 12. 1 小動物臨床部会委員・狂犬病委員合同会議（於 湯梨浜町：水明荘）
狂犬病予防注射料金の値上げ、集合注射の対価
令和5年度小動物臨床部会委員・狂犬病委員の改選
インボイス制度に係る狂犬病予防注射関係書類の修正

- 5. 2. 14 中部地区狂犬病予防注射実施協議会
 - 5. 2. 16 東部地区 //
 - 5. 2. 28 西部地区 //
- 令和5年度狂犬病予防注射の実施、狂犬病予防注射料金改定インボイス制度への対応、動物愛護管理行政の実績（鳥取県・鳥取市からの情報提供）

(5) 大動物臨床部会関係

- 4. 4. 26 西部地区豚熱ワクチン接種委託事業に係る獣医師への説明会
 - 4. 5. 30 東部地区 //
- (新規従事獣医師対象説明会)
- 4. 10. 24 令和4年度自衛防疫委員会
大動物臨床部会研修会の開催計画、鳥取県獣医師会役員の職域区分
 - 5. 1. 6 中部地区豚熱ワクチン接種体制見直しに係る獣医師への説明会
 - 5. 1. 11 東部地区 //

(6) 鳥取県農業共済組合関係

- 5. 3. 15 損害評価会家畜共済部会（於 鳥取市）

(7) 日本獣医師会関係

- 4. 4月 (WEB 参加) 第1回全国獣医師会会長会議
- 4. 6月 (WEB 参加) 日本獣医師会第79回通常総会
- 4. 7月 全国獣医師会事務・事業推進会議
- 4. 9月 第2回全国獣医師会会長会議
- 4. 10月 2022動物感謝デーinJAPAN “World Veterinary Day”

(8) 中国地区獣医師会連合会関係

- 4. 4. 14 於 広島市：令和4年度定期総会
- 4. 7. 7 於 山口市：臨時総会
- 4. 9. 2 於 山口市：事務担当者会議
- 4. 9. 4 於 山口市：中国地区開業部会連絡協議会定期会議
- 4. 10. 9 於 岡山市：令和4年度小動物講習会（中国地区）
- 4. 2. 27 於 松江市：令和4年度高度獣医療講習会会場参加とWEB参加
- 5. 1. 14 於 広島市：令和4年度獣医公衆衛生講習会（中国地区）

(9) その他

県くらしの安心局くらしの安心推進課、県畜産振興局畜産課、鳥取県農業共済組合、（公社）鳥取県畜産推進機構、（公財）鳥取県食鳥肉衛生協会、鳥取県公衆衛生協会、鳥取県食中毒防止対策協議会等、関係機関との連携を図り、会議、打合せ等が開催される場合に可能な限り参画した。

2. 会員の動向

(1) 顧問 福田 豊 氏、山根 義久 氏、石田 茂 氏

(2) 正会員 253名

支部	R4年度初 現在数	支 部 間 異 動		入 会	退 会	R4年度末 現在数
		入	出			
東 部	87	山里比呂志 森原 秀雄 生田 泰子 池本千恵美 大石美智子 田中 一	小谷 道子 羽田 智栄 郡司 美緒 松村あかり 樋口 久美 尾崎 裕昭 市川 利奈	0	赤木 敬輔 保坂 善真 徳岡 学 (御逝去)	83
中 部	85	小西 博敏 小谷 道子 山本 路子 松村あかり 樋口 久美 高橋 希 小林 努 市川 利奈	山里比呂志 岩尾 健 生田 泰子 大下 幸子 三井 香保 大石美智子 田中 一 赤井 精	4	網谷 祐汰 松居 裕司 楠田 広大 五味明日香 岸田 祐 砂田 嘉秋	87
西 部	82	岩尾 健 羽田 智栄 大下 幸子 郡司 美緒 尾崎 裕昭 三井 香保 赤井 精	森原 秀雄 小西 博敏 池本千恵美 山本 路子 高橋 希 小林 努	1	兼平 菜生 阿部 信	83
	254	21	21	5	6	253

※支部間の異動は、令和5年4月1日付け人事異動も反映する。

(3) 特別会員

名誉会員 伊澤 史隆、石黒 仁志、岸本 務、齋尾 秀隆、山中 哲雄
(5名)

終身会員 生田 常雄、石川 啓作、上田 昭夫、遠藤 喜久、太田 勝己、太田垣公利
(24名) 金田 耕治、木嶋 朗博、岸本 靖、小谷 光男、清間 通、竹本 巖
田村 知央、田村 儀一、角田 幹、中村 勇、中森 悦夫、那須和四郎
西谷 悦夫、白間 実、本田達之助、三田 早苗、宮石 憲士、山根 礼吉

(4) 賛助会員 (7名)

(公社)鳥取県畜産推進機構、鳥取県農業共済組合、大山乳業農業協同組合、
米久おいしい鶏(株)、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会、MPアグロ(株)、(株)アスコ

(5) 会員逝去 徳岡 学(会員)、福井 忠義(終身会員)、安田 公正(終身会員) 山根 徳久(終身会員)

第3 事業概況

【公益目的事業】

1. 獣医学術振興

(1) 学会

- 第54回鳥取県獣医学会（開催中止）

- 令和4年度獣医学術中国地区学会
4. 9. 3～4 於：山口市 山ログランドホテル
発表演題数 115題
日本産業動物獣医学会 37題（鳥取県：2題）
日本小動物獣医学会 54題（鳥取県：5題）
日本獣医公衆衛生学会 24題（鳥取県：0題）

- 第43回動物臨床医学会年次大会（公益財団法人 動物臨床医学研究所主催）
4. 11. 19～20 於：大阪市 グランキューブ大阪（大阪国際会議場）

- 第21回アジア獣医師連合会大会・令和4年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会
4. 11. 11～13 於：福岡市 ヒルトン福岡シーホーク

(2) 講習会・研修会

- 獣医師を目指す高校生セミナー
4. 8. 10 於：鳥取市 とりぎん文化会館
参加者：高校生2名、保護者1名

- 大動物臨床部会研修会
4. 12. 15 於：倉吉市 鳥取県立倉吉未来中心
講 師：きくち酪農コンサルティング株式会社 代表取締役 菊地 実 先生
講習内容：「酪農の近未来、経営及び牛の観点から」
参加者：24名

- 西部支部研修会
5. 2. 22 於：米子市 米子コンベンションセンター
講 師：鳥取家畜保健衛生所 所長 小谷 道子 先生
講習内容：「県内初の鳥インフルエンザ発生事例への対応」

(3) 獣医師業務PR動画作成事業

県内の小動物・産業動物・公務員獣医師を確保するため、鳥取県内で獣医師として働く魅力について動画を作成し、県や鳥取県畜産推進機構、鳥取県獣医師会のHP上に掲載するとともに、大学説明会等で使用し、広くアピールすることを目的に県の補助により事業を実施した。

(4) ホームページ、会報による情報提供

- 4. 5. 11 第104回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会
- 4. 6. 15 馬麻酔オンラインセミナー（日本獣医麻酔外科学会主催）
- 4. 6. 29 日本獣医エキゾチック動物学会「2022年夏季オンラインセミナー」
- 4. 7. 1 令和4年度農場HACCP審査員養成研修会
- 4. 7. 11 女性獣医師等就業支援研修
- 4. 9. 14 第105回日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会
- 4. 9. 15 日本獣医臨床病理学会2022年次大会
- 4. 10. 21 OPU-IVFによるウシ胚生産における技術者研修
- 4. 10. 25 第12回家畜感染症学会学術集会
- 4. 11. 15 令和4年度臨床獣医師防疫体制強化事業講習会
- 5. 2. 17 日本小動物歯科研究会30周年記念講演・式典、第31回症例検討会

2. 人と動物が共生できる社会環境づくり事業

(1) 狂犬病予防注射頭数 (R4. 3～R5. 2) 17,414頭

() は前年同期

地 区	集合注射頭数	個人注射頭数	頭数合計
東 部	369 (360)	5,961 (5,987)	6,330 (6,347)
中 部	574 (563)	2,544 (2,605)	3,118 (3,168)
西 部	1,214 (1,321)	6,752 (6,520)	7,966 (7,841)
計	2,157 (2,241)	15,257 (15,112)	17,414 (17,356)

(2) マイクロチップ装着・登録の普及推進

○マイクロチップ装着推進

代行登録頭数：39頭（前年度：206頭）、6/1より法定登録開始により減。

○マイクロチップ装着助成事業(新規事業:助成金 一般飼い主の犬又は猫 1,500円/頭)

助成頭数：248頭（計画頭数：200頭）

(3) 盲導犬医療費等助成事業（新規事業：助成金 上限30,000円/頭）

助成頭数：5頭

(4) 飼い猫の不妊、去勢手術奨励事業（県事業を活用）

実施頭数：不妊286頭（1頭当たり4,000円助成）（前年度：535頭）

去勢192頭（1頭当たり2,000円助成）（前年度：362頭）

合計478頭（計画頭数400頭）（前年度：897頭）

(5) 家畜伝染病防疫体制強化の推進

豚熱ワクチン接種委託事業（県委託事業）（新規事業）

接種農場数：11農場

年間接種頭数：22,354頭

(6) 愛玩動物等災害時救護活動事業

中国4県の救護活動費確保状況を調査し、特定費用準備資金について内部検討を開始。

3. 飼養動物等の知識・技術普及啓発に関する事業

(1) 動物愛護事業

○動物愛護の普及啓発

4. 7. 1 ペットの熱中症対策（朝日新聞広告）

4. 9. 19 動物愛護週間（日本海新聞広告）

5. 3. 29 ペットを守る予防対策（日本海新聞広告）

○日本児童文学賞受賞作品集の配布

4. 11. 21 県内小学校・小中一貫校 122校、県内公立図書館 27

(2) 飼養相談・助言指導

○ペット無料相談コーナー

4. 9. 25 動物愛護フェスティバルでの無料相談コーナー設置 相談件数 8件

○県内小学校の飼養動物について飼養相談・助言指導

5. 1. 17 コロナの影響により参考文献配布 県内小学校 20校

その他の取組

【会員等相互扶助等に関する取組】

1 獣医事の推進

○要望・要請活動

中国地区獣医師会連合会を通じて、（公社）日本獣医師会に次の各号について要請した。

①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正について(継続)

②獣医師養成確保修学資金給付事業の広範活用について(継続)

③伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）のサーベランスの実施と検査・診断体制の整備について(継続)

④「獣医療法」第17条(広告の制限)及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療法広告ガイドライン)の見直しについて(継続)

⑤農業共済組合家畜診療所の運営費の助成について（新規）

2 会員等活動支援

(1) 会員、一般市民への情報提供

（公社）日本獣医師会、中国地区獣医師会連合会等が主催する行事等、国・県等からの法令等の改正情報等についてホームページ、会報、メール等により情報発信した。

(2) 学会等参加助成

アジア獣医師会連合大会・日本獣医師会獣医学術学会年次大会、獣医学術中国地区学会への参加登録料を助成した。

(3) 表彰

①第70回 通常総会（令和4.6.12 於 米子市）において会長表彰

植松亜紀子 氏、河野 信嗣 氏、寺坂 理恵 氏、前田 美恵 氏、梁川 直宏 氏
山崎 洋 氏、山本 香織 氏、湯口 俊之 氏

②令和4年度日本獣医師会長表彰及び中国地区獣医師会連合会長表彰

日本獣医師会会長表彰

桑本 賢治 氏

中国地区獣医師会連合会会長表彰

徳田 達也 氏、野田 一臣 氏、長谷岡 淳一 氏

3 福利厚生への推進

(1) 慶 弔

慶 事 8件（会員8名） 弔 慰 14件（会員16名）

(2) 福 祉 事 業

獣医師福祉共済制度の推進 生命共済、医療保障保険、賠償責任保険